

総務文教常任委員会

委員長 久保 雅己

【一般会計】

問 道路維持管理経費等の実績が減ったのは、総合支所の人員削減によって対応できなかったのではないか？

答 総合支所が行う工事は緊急対応で、住民生活に密接しており、人員の減を理由に対応しないことはない。

問 債権の放棄について、住宅家賃・水道料を放棄したのは地方税法という時効期間の5年によるものか？

答 債権放棄は、債権管理委員会でご審議いただき、債権管理条例第7条の各号に該当する相続人の放棄や不存在で放棄したものである。

問 搜索等の消防団の活動に際し、自治会等、地域の協力に対して費用面の助成をしようか？

答 ボランティアという理念に

矛盾が生じると思われるが、地域の炊き出し経費の助成については、今後、検討が必要である。

問 籍のみを置いて活動に参加しない「幽霊消防団員」について、実態を調査したことはあるか？

また、出勤に際し、旧町単位の支部にこだわる必要があるのか？

答 出勤手当が出ていない全ての団員が幽霊消防団員というわけではない。

実態把握は難しいが調査は進めたいと思う。

なお、出勤の可否は、団長以下、指揮命令系統がある中で、地元の分団と調整している。

問 定住促進協議会の移住相談に関し、相談件数は倍増しているが、移住の実績は頭打ちではないか？

答 移住ツアーも参加者不足で

中止となる市町が多い中、嘱託職員の企画力や営業力で参加者の確保はできている。

問 子育て支援という観点から、学校給食の無料化を検討しはどうか？

答 和木町や岩国市の実施状況を参考に検討していきたい。

問 アンケートで学校に行くのは楽しいと答えた割合は、少しずつ減っている。

潜在的ないじめ等は、中学校が統合した際にもあると思うので、適切な対応をお願いしたい。

答 学校では週1回、生活アンケートを実施し、きめ細やかな把握ができるよう努めている。

教育委員会も学校との情報共有を図り、そして、学校全体で取り組んで行くよう指導していきたい。

問 文化事業はつながりや継続性が必要と思う。

旧町単位の活動ではなく、一体感のある取り組みを行っ

てはどうか？

答 文化や歌、踊り等の面では、同一の場所で合同実施することは難しい。

文化振興会が行っている「大島学」の今後の展開に期待している。



総務部総務課の審査